

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(6)-ア	スタートアップの促進	施策	①起業家の育成
			施策の小項目名	○起業家マインドを有する人材を継続的に輩出・育成する仕組みの構築
主な取組	スタートアップ関連イベントの開催		対応する成果指標	起業家育成数
施策の方向	<p>・スタートアップを創出するためには、それを担う起業家人材の育成が重要です。大学や企業、起業家等との連携により、起業家マインドを有する人材を継続的に輩出・育成する仕組みの構築に取り組めます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
大学や企業、起業家等との連携により、起業家マインドを有する人材を継続的に輩出・育成する仕組みの構築に取り組む。	県	金融機関、ベンチャーキャピタル、産業支援機関等が参加するコミュニティの形成促進			
		スタートアップ関連イベントの開催件数(累計)			
		3件	3件(6件)	3件(9件)	
担当部課【連絡先】	商工労働部産業政策課		【 098-866-2330 】	関連URL	https://startup-lagoon.okinawa/

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名				スタートアップ・エコシステム構築支援事業の一部		
主な財源	実施方法	R5年度	R6年度	R7年度		
		決算額	決算見込額	主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 (ソフト)	委託	136,284の一部	139,392の一部	一括交付金 (ソフト)	委託	143,383の一部
令和6年度活動内容				令和7年度活動計画		
スタートアップの創出、事業会社とのマッチングや資金調達促進を目的としたスタートアップ関連イベントを実施する。				スタートアップの創出、事業会社とのマッチングや資金調達促進を目的としたスタートアップ関連イベントを実施する。		

活動指標名	スタートアップ関連イベントの開催件数 (累計)		R6年度			進捗状況	活動概要
	R4年度	R5年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	16件	14件	14件	3件 (9件)	100.0%	順調	スタートアップの創出、事業会社とのマッチングや資金調達促進を目的としたスタートアップ関連イベントを14回開催した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

スタートアップ関連イベントを計画の3回を上回る14回開催したことから、順調とした。
令和6年2月に「Asia Newtravel Bootcamp」を開催し、海外からも多くのスタートアップが参加した。

(2) これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
おきなわスタートアップ・エコシステム・コンソーシアムの人的資本部会の活動を充実させることで、さらなる起業関心層の掘り起こしを図る。	おきなわスタートアップ・エコシステム・コンソーシアムにおいて、おきなわスタートアップ・エコシステム発展戦略を策定し、関係機関の連携体制の強化を図った。 おきなわスタートアップ・エコシステム発展戦略は、国のスタートアップ育成5か年計画と整合を図り、スタートアップと支援者とのネットワークの構築に取り組むこととしている。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	おきなわスタートアップ・エコシステム・コンソーシアムの各部会活動は活発化しているが、参加組織が偏っていることから、加盟組織全体の巻き込みを強化することで起業関心層の掘り起こしを図っていく。	② 連携の強化・改善	おきなわスタートアップ・エコシステム・コンソーシアム内での連携強化を図り、人的資本部会の活動を充実させることで、さらなる起業関心層の掘り起こしを図る。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(6)-ア	スタートアップの促進	施策	①起業家の育成
			施策の小項目名	〇スタートアップの研究開発、技術実証の支援
主な取組	スタートアップに対する事業化支援		対応する成果指標	起業家育成数
施策の方向	<p>・また、新たなビジネスやイノベーションを生み出す技術シーズの担い手として、大学等の研究・教育機関の役割は重要であることから、大学等の研究・教育機関においても起業家マインドの育成を行うとともに、大学等の技術シーズを活用したスタートアップの研究開発、技術実証の支援に取り組めます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
革新的な技術や新たなビジネスモデルによる新事業の創出に向け、大学等の技術シーズを活用したスタートアップに対し、事業検証等に係る補助金による資金提供及び支援機関によるハンズオン支援を実施する。	県	ビジネスモデルの事業化検証及び技術開発支援		
		支援件数(累計)		
		8件	8件(16件)	8件(24件)
担当部課【連絡先】	商工労働部産業政策課	【 098-866-2330 】	関連URL	https://startup-lagoon.okinawa/

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名				スタートアップ・エコシステム構築支援事業の一部		
主な財源	実施方法	R5年度	R6年度	R7年度		
		決算額	決算見込額	主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 (ソフト)	委託	136,284の一部	139,392の一部	一括交付金 (ソフト)	委託	143,383の一部
令和6年度活動内容				令和7年度活動計画		
スタートアップのビジネスモデルの事業検証及び事業開発の支援を実施するとともに、当該スタートアップのハンズオン支援を行う。				スタートアップのビジネスモデルの事業検証及び事業開発の支援を実施するとともに、当該スタートアップのハンズオン支援を行う。		

活動指標名	支援件数 (累計)		R6年度			進捗状況	活動概要
	R4年度	R5年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	6件	7件	7件	8件 (24件)	87.5%	概ね順調	事業検証等に係る支援として、バイオ医薬品の新規開発支援サービスの開発など、優れた研究開発や新規性の高いビジネスモデル7件に対し補助を行うとともに、ハンズオン支援を実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

支援件数については、計画していた8件を下回る7件の支援（補助）に留まったものの、ハンズオン支援により事業化に向けた技術の確認等、ビジネスプランのブラッシュアップを支援できたことから概ね順調としている。
 目標値に届かなかった要因としては、申請企業の事業計画が評価基準に達していなかったこと等が一因である。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
支援したスタートアップに対する事後アンケートにより支援ニーズを把握し、必要に応じておきなわスタートアップ・エコシステム・コンソーシアムの加盟組織が実施する別の支援に繋げていく。	スタートアップ支援の取組を発信するサイトやSNSを活用した情報発信の強化やおきなわスタートアップ・エコシステム・コンソーシアムの加盟組織に対する情報提供を行い、前年度に比べ応募件数が増加した。 過年度の採択事業者に対し、フォローアップ調査を行うとともに、ビジネスマッチングや他の支援機関による支援メニューの紹介を行った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	事前相談件数、応募件数は増加しており、周知への取り組みは一定の効果があったと考えるが、本事業において求める「スタートアップ」は決して多いとは言えず、今後掘り起こしが必要である。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
② 連携の強化・改善	おきなわスタートアップ・エコシステム・コンソーシアムの加盟組織と連携し、更なる「スタートアップ」の掘り起こし、ステージ移行を見据えたスタートアップの選定を行う。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(6)-ア	スタートアップの促進	施策	②創業・成長の支援体制の構築
			施策の小項目名	○短期間での成長を促す支援体制の強化
主な取組	ベンチャーキャピタル等の招聘		対応する成果指標	支援したスタートアップの資金調達額(累計)
施策の方向	<p>・本県はもとより我が国においてもユニコーン企業の出現が少ない状況にあることから、金融機関・ベンチャーキャピタル・産業支援機関等が参加するコミュニティを形成し、革新的な技術やビジネスモデルで世界に新しい価値を生むスタートアップの創業、規制緩和を活用した誘致など、短期間での成長を促す支援体制の強化に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
パートナーVC制度を実施し、スタートアップの成長資源となる資金調達の機会を創出する。	県	スタートアップの成長資源となる資金調達の機会を創出する、ベンチャーキャピタル等の招聘			
		ベンチャーキャピタル等の招聘数(累計)			
		3社	3社(6社)	3社(9社)	
担当部課【連絡先】	商工労働部産業政策課		【 098-866-2330 】	関連URL	https://startup-lagoon.okinawa/

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)						
(1) 取組の進捗状況				(単位: 千円)		
予算事業名	スタートアップ・エコシステム構築支援事業の一部			予算事業名	スタートアップ・エコシステム構築支援事業の一部	
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	R7年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 (ソフト)	委託	136,284の 一部	139,392の一部	一括交付金 (ソフト)	委託 143,383の一部	
令和6年度活動内容				令和7年度活動計画		
<p>パートナーVC制度を実施し、スタートアップとのマッチングを行ったほか、イベント等でのマッチングも実施した。</p>				<p>引き続きパートナーVCを認定しマッチングを行う他、スタートアップのビジネスモデルのブラッシュアップや資金調達につながるイベントを実施する。</p>		
活動指標名	ベンチャーキャピタル等の招聘数 (累計)	R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)		
	24社	19社	29社	3社(9社)	100.0%	順調
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果						
<p>パートナーVCの他、イベント等でのベンチャーキャピタル等の招聘数が目標値3社に対して実績値29社となったことから順調とした。ビジネスプランのプレゼンや個別メンタリングにより、ビジネスプランのブラッシュアップや資金調達に繋がった。</p>						
(2) これまでの改善案の反映状況						
令和6年度の取組改善案				反映状況		
<p>ベンチャーキャピタル等の招聘数増加に向け、定期的にベンチャーキャピタルが来沖する仕組みづくりに取り組む。</p>				<p>おきなわスタートアップ・エコシステム・コンソーシアムにおいて、おきなわスタートアップ・エコシステム発展戦略を策定し、同コンソーシアム加盟組織と連携しベンチャーキャピタル等とのマッチング機会の増加に取り組むこととした。</p>		

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	ベンチャーキャピタル等の招聘数増加に向けてパートナーVCを新規に認定する等取組に加え、ベンチャーキャピタル等とのネットワーク構築に取り組む必要がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
② 連携の強化・改善	ベンチャーキャピタル等の招聘数増加に向け、パートナーVCを認定し、定期的にベンチャーキャピタルが来沖する仕組みづくりに取り組む。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(6)-ア	スタートアップの促進	施策	③スタートアップ等と大手企業・金融機関・研究機関・大学等との連携促進
			施策の小項目名	○大手企業・金融機関・研究機関・大学・投資家・海外の支援機関等との連携促進
主な取組	スタートアップと関係機関のマッチング支援		対応する成果指標	支援したスタートアップによる社会提供したソリューション・プロダクト件数
施策の方向	・スタートアップ・エコシステムの構築に向けて、国内外の起業家・スタートアップと業務提携や共同研究、出資等の相手となる大手企業・金融機関・研究機関・大学・投資家等との連携促進に取り組むとともに、アジアのダイナミズムを取り込むため、海外の支援機関等との連携を推進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
スタートアップと業務提携や共同研究、出資等の相手となる大手企業やベンチャーキャピタル等とのマッチングにより、資金調達や販路拡大等の支援を実施する。	県	九州各県のスタートアップ企業やベンチャーキャピタル等とのマッチング		
		派遣企業数(累計)		
		2社	2社(4社)	2社(6社)
担当部課【連絡先】	商工労働部産業政策課	【 098-866-2330 】	関連URL	https://kyushu-yamaguchi-vm.jp/

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)								
(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)				
予算事業名				ベンチャー企業マッチング支援事業				
主な財源		実施方法		R5年度 決算額	R6年度 決算見込額			
県単等		負担		1,050	1,050			
令和6年度活動内容				令和7年度活動計画				
九州・山口各県と連携して「九州・山口ベンチャーマーケット」を開催し、県内スタートアップ等の資金調達や販路拡大等を支援する。				九州・山口各県と連携して「九州・山口ベンチャーマーケット」を開催し、県内スタートアップ等の資金調達や販路拡大等を支援する。				
活動指標名		派遣企業数 (累計)		R6年度			進捗状況	活動概要
		R4年度	R5年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値		2社	2社	2社	2社 (6社)	100.0%	順調	令和6年12月に開催された九州・山口ベンチャーマーケット2024のビジネスプラン発表会に県内スタートアップ2社を派遣した。
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果								
九州・山口各県の地方自治体や経済団体と連携し、九州・山口ベンチャーマーケットの開催を通じて、スタートアップの資金調達や販路開拓等を支援した。当初計画のとおり、県内2社を派遣し、ビジネスプラン発表会に向け個別メンタリングを実施するとともに、個別ビジネスマッチングを実施したことで、ビジネスプランのブラッシュアップにつなげたことから順調とした。								
(2) これまでの改善案の反映状況								
令和6年度の取組改善案					反映状況			
派遣したスタートアップに対する事後アンケートの実施による成果の把握を実施する。 イベントの開催や結果等について、「おきなわスタートアップ・エコシステム・コンソーシアム」等を通じてスタートアップコミュニティへ周知を図る。					派遣したスタートアップに対する事後アンケートを実施し、成果を把握した。 派遣したスタートアップの資金調達や販路拡大の状況について情報収集した。			

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	本事業において派遣したスタートアップの資金調達や販路拡大等へつながったか、その成果を把握していく必要がある。
⑦ その他(改善余地の検証等)	県外で実施するイベントであることから、「おきなわスタートアップ・エコシステム・コンソーシアム」等を活用した県内での認知度を向上させる必要がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
② 連携の強化・改善	派遣したスタートアップに対する事後アンケートを行い成果の把握を実施するほか、九州・山口各県の支援機関と連携し、必要に応じて県外企業等とのマッチングにつなげる。
② 連携の強化・改善	イベントの開催や結果等について、「おきなわスタートアップ・エコシステム・コンソーシアム」等を通じてスタートアップコミュニティへ周知を図る。



様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(6)-ア	スタートアップの促進	施策	③スタートアップ等と大手企業・金融機関・研究機関・大学等との連携促進
			施策の小項目名	○大手企業・金融機関・研究機関・大学・投資家・海外の支援機関等との連携促進
主な取組	海外支援機関、アクセラレーター等と連携した取組		対応する成果指標	支援したスタートアップによる社会提供したソリューション・プロダクト件数
施策の方向	・スタートアップ・エコシステムの構築に向けて、国内外の起業家・スタートアップと業務提携や共同研究、出資等の相手となる大手企業・金融機関・研究機関・大学・投資家等との連携促進に取り組むとともに、アジアのダイナミズムを取り込むため、海外の支援機関等との連携を推進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
海外支援機関、アクセラレーター等と連携した取組を実施する。	県	海外支援機関、アクセラレーター等と連携した取組			
		取組件数(累計)			
		1件	1件(2件)	1件(3件)	
担当部課【連絡先】	商工労働部産業政策課		【 098-866-2330 】	関連URL	https://startup-lagoon.okinawa/

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)							
(1) 取組の進捗状況				(単位: 千円)			
予算事業名	スタートアップ・エコシステム構築支援事業の一部			予算事業名	スタートアップ・エコシステム構築支援事業の一部		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	R7年度			
				主な財源	実施方法	当初予算額	
一括交付金 (ソフト)	委託	136,284の 一部	139,392の一部	一括交付金 (ソフト)	委託	143,383の一部	
令和6年度活動内容				令和7年度活動計画			
県外(海外)支援機関と連携し、県内スタートアップの県外での活動(資金調達活動、県外企業との連携促進等)のコーディネートを行う。				県外(海外)支援機関と連携し、県内スタートアップの県外での活動(資金調達活動、県外企業との連携促進等)のコーディネートを行う。			
活動指標名	取組件数(累計)		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	1件	3件	3件	1件(3件)	100.0%	順調	県外(海外)支援機関が実施する展示会等に出展し、スタートアップ9社の資金調達や県外事業会社とのマッチングに係る支援を行った。
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果							
<p>県外(海外)支援機関が実施する展示会等の出展が、目標を上回る3件の出展となったことから順調とした。 県内スタートアップに対し、県外の事業会社等とのマッチング機会を提供するとともに、県内のスタートアップ支援状況について周知を図ることができた。</p>							
(2) これまでの改善案の反映状況							
令和6年度の取組改善案				反映状況			
<p>県外(海外)支援機関と、それぞれの地域のスタートアップのビジネスマッチングを継続して実施するとともに、県外(海外)支援機関が実施する展示会等などに、継続して出展し、連携の強化を図る。</p>				<p>7月に開催されたI V S 2025 KYOTOに出展同行したスタートアップに関して、商談や資金調達につながる可能性のあるやりとりが発生していることが事後アンケートで確認された。</p>			

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
① 県の制度、執行体制(内部要因)	県内スタートアップの県外(海外)展開にあたっては、イベントでの接点が単発で終わるケースも多いことから、継続的な関係構築に向けたフォローアップ体制の強化が課題である。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
② 連携の強化・改善	県外(海外)支援機関と、それぞれの地域のスタートアップのビジネスマッチングを継続して実施するとともに、イベント後のフォローアップ支援の強化に取り組む。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(6)-ア	スタートアップの促進	施策	③スタートアップ等と大手企業・金融機関・研究機関・大学等との連携促進
			施策の小項目名	〇ソーシャル・イノベーションの促進
主な取組	社会課題解決型スタートアップへの支援		対応する成果指標	支援したスタートアップによる社会提供したソリューション・プロダクト件数
施策の方向	<p>・また、行政が主体となって行っていた社会課題解決の取組をスタートアップなど民間事業者の持つ新たな視点・手法を活用してビジネス化する取組に転換する支援や民間事業者との協働を通じてソーシャル・イノベーションの促進に取り組めます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
社会課題解決型のスタートアップに対し、事業検証等に係る補助金による資金提供及び支援機関によるハンズオン支援を実施する。	県	社会課題解決型のスタートアップへの支援		
		支援件数(累計)		
		1件	1件(2件)	1件(3件)
担当部課【連絡先】	商工労働部産業政策課	【 098-866-2330 】	関連URL	https://startup-lagoon.okinawa/

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名		スタートアップ・エコシステム構築支援事業の一部		予算事業名		スタートアップ・エコシステム構築支援事業の一部
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	R7年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 (ソフト)	委託	136,284の 一部	139,392の一部	一括交付金 (ソフト)	委託	143,383の一部
令和6年度活動内容				令和7年度活動計画		
スタートアップのビジネスモデルの事業検証及び事業開発の支援を実施するとともに、当該スタートアップのハンズオン支援を行う。				スタートアップのビジネスモデルの事業検証及び事業開発の支援を実施するとともに、当該スタートアップのハンズオン支援を行う。		

活動指標名	支援件数 (累計)		R6年度			進捗状況	活動概要
	R4年度	R5年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	3件	2件	5件	1件 (3件)	100.0%	順調	事業検証等に係る支援として、バイオ医薬品の新規開発支援サービスの開発など、優れた研究開発や新規性の高いビジネスモデル5件に対し補助を行うとともに、ハンズオン支援を実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

支援件数については、計画していた1件を上回る5件の支援（補助）を行ったことから、順調としている。
事業検証等の支援を行ったことにより、事業化に向けた技術の確認などビジネスプランのブラッシュアップや事業化を図ることができた。

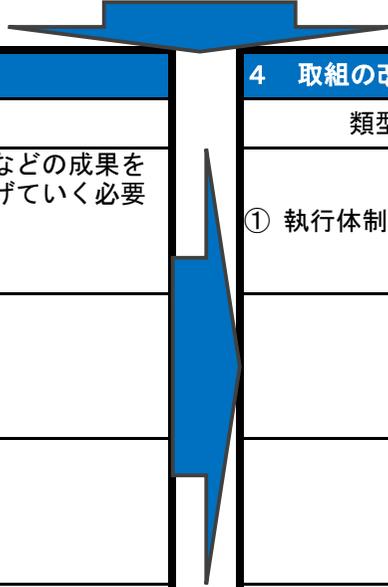
(2) これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
支援したスタートアップに対する事後アンケートにより支援ニーズを把握し、必要に応じておきなわスタートアップ・エコシステム・コンソーシアムの加盟組織が実施する別の支援に繋げていく。	過年度の採択事業者に対し、フォローアップ調査を行うとともに、ビジネスマッチングや他の支援機関による支援メニューの紹介を行った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	支援したスタートアップの事業化や資金調達などの成果を把握するとともに、必要に応じて別の支援に繋げていく必要がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
① 執行体制の改善	支援したスタートアップに対する事後アンケートにより支援ニーズを把握し、必要に応じておきなわスタートアップ・エコシステム・コンソーシアムの加盟組織が実施する別の支援に繋げていく。



様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(6)-ア	スタートアップの促進	施策	④金融関連産業の集積促進
			施策の小項目名	○経済金融活性化特別地区制度の利活用促進
主な取組	経済金融活性化特別地区制度の利活用促進及びプロモーションの展開		対応する成果指標	経済金融活性化特別地区立地企業数（金融関連企業）
施策の方向	・名護市と連携し、本県への立地メリットをアピールするプロモーション活動を展開するとともに、経済金融活性化特別地区における税制特例措置等の利活用を促進するなど、国内外からの企業誘致に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
経済金融活性化特別地区制度の利活用促進のため、特区対象事業(金融・情報)へのプロモーションや制度周知等を実施する。	県,事業者等	経金特区対象事業(金融・情報)へのプロモーション・制度周知	経金特区対象事業(金融・情報)へのプロモーション・制度周知、制度の延長に向けた調整の実施	
		経済金融活性化特別地区制度の利活用促進及び調整等の実施		
		実施	実施	実施
担当部課【連絡先】	商工労働部ITイノベーション推進課 【 098-866-2503 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	—			予算事業名	—	
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	R7年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
—	その他			—	その他	
令和6年度活動内容				令和7年度活動計画		
特区対象事業（金融・情報）へのプロモーション・制度周知、制度延長に向けた調整を実施した。				特区対象事業（金融・情報）へのプロモーション・制度周知、制度延長に向けた調整を実施する。		

活動指標名	経済金融活性化特別地区制度の利活用促進及び調整等の実施		R6年度			進捗状況	活動概要
	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	実施	実施	実施	実施	100.0%	順調	経済金融活性化特別地区制度周知のため展示会等による情報提供を行った。また、特区活用企業の相談対応を行った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

経済金融活性化特別地区制度の周知のため、関係機関と連携し、税制相談会や展示会等において情報提供を行った。また、特区活用を希望し、令和6年度に進出予定の企業に対し、要件の確認など、具体的な相談の対応を行い、今後の同制度の活用が見込まれる状況であることから、順調とした。

(2) これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
○県の関係部局や名護市等との意見交換や、制度実績のとりまとめを行い、国との調整を進める。	○名護市の計画を踏まえ、名護市との連携を行ったほか、同地区に進出を決定した企業のサポートを行った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	制度の期間が令和8年度末までとなっていることから、名護市等の関係機関と連携し、効果的な税制の特例制度となるように国への要望等を行う必要がある。	② 連携の強化・改善	県の関係部局や名護市等との意見交換や、制度実績のとりまとめを行い、国との調整を進める。
⑦ その他(改善余地の検証等)	税制説明会や展示会等において説明したが、税目ごとに特例事項が異なり、事業者がメリットを把握しきれていない部分がある。	② 連携の強化・改善	県の関係部局と連携し、制度について相互に情報共有・情報交換を行い、制度の周知に取り組む。

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(6)-ア	スタートアップの促進	施策	④金融関連産業の集積促進
			施策の小項目名	〇名護市と連携した企業支援の実施
主な取組	名護市と連携した金融関連企業等への支援の実施		対応する成果指標	経済金融活性化特別地区立地企業数（金融関連企業）
施策の方向	・官民共創による企業支援体制の構築に向けた名護市の取組を支援するとともに、新たな技術を活用したビジネスモデルの創出や特区内企業によるDXの取組を促進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
金融関連産業の集積促進のため、名護市や金融関連企業等の取組に対するサポートを実施する。	県,名護市,事業者	名護市の構想策定への協力	同構想に基づく企業集積に向けた取組への協力	
		名護市や金融関連企業等の取り組みに対するサポートの実施		
		実施	実施	実施
担当部課【連絡先】	商工労働部ITイノベーション推進課 【 098-866-2503 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)



2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	—			予算事業名	—	
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	R7年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
—	—			—	—	
令和6年度活動内容				令和7年度活動計画		
名護市と連携し、進出企業へのサポートを行った。				名護市と連携し、進出企業へのサポートを行う。		

活動指標名	名護市や金融関連企業等の取り組みに対するサポートの実施		R6年度			進捗状況	活動概要
	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	実施	実施	実施	実施	100.0%	順調	経済金融活性化特別地区について、名護市と連携しながら周知し、金融関連企業を誘致する。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

経済金融活性化特別地区制度の周知のため、関係機関と連携し、税制相談会や展示会等において情報提供を行った。
また、特区活用を希望し、令和6年度に進出予定の企業に対し、要件の確認など、具体的な相談の対応を行ったことで、当該企業の進出も決定したことから、「順調」と判断した。

(2) これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
○進出企業へのヒアリング等の実施により、ニーズを的確に把握するとともに、名護市との連携を促進する。	○名護市の計画を踏まえ、名護市との連携を行ったほか、同地区に進出を決定した企業に対し、制度の詳細な説明や要件の確認、相談等を行ったことで、企業の進出につながった。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	さらなる企業の制度活用に向け、見本市やセミナー等への出展に取り組み、制度周知を図る必要があると考える。	② 連携の強化・改善	見本市やセミナー等において出展することにより一層の制度の周知を図り、制度を活用した企業の沖縄への進出につなげる。

「主な取組」検証票

施策展開	3-(6)-ア	スタートアップの促進	施策	④金融関連産業の集積促進
			施策の小項目名	○特区内企業の人材育成・マッチング支援
主な取組	金融関連企業等の人材確保・育成支援		対応する成果指標	経済金融活性化特別地区立地企業数(金融関連企業)
施策の方向	・特区内企業の業務の高度化や規模拡大に対応できる人材の育成を促進するとともに、県内教育機関との連携により、学生等を特区内企業への就業につなげるためのマッチング支援に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
経済金融活性化特別地区をインセンティブとした立地を促進するため、対象産業である金融関連産業や人材育成に関する取組について支援する。	県,名護市,事業者	特区内企業と学生等の就職マッチング支援、立地企業等の人材育成支援		
		①マッチングイベント開催数(累計) ②金融関連企業等向け人材育成支援実施数(累計)		
		①3回 ②10回	①3回(6回) ②10回(20回)	①3回(9回) ②10回(30回)
担当部課【連絡先】	商工労働部ITイノベーション推進課 【 098-866-2503 】		関連URL	-

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)																													
(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)																													
<table border="1"> <tr> <td>予算事業名</td> <td colspan="3">経済金融活性化促進事業</td> </tr> <tr> <td>主な財源</td> <td>実施方法</td> <td>R5年度 決算額</td> <td>R6年度 決算見込額</td> </tr> <tr> <td>一括交付金 (ソフト)</td> <td>委託</td> <td>10,727</td> <td>10,043</td> </tr> </table>				予算事業名	経済金融活性化促進事業			主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	一括交付金 (ソフト)	委託	10,727	10,043	<table border="1"> <tr> <td>予算事業名</td> <td colspan="2">経済金融活性化特別地区魅力向上事業</td> </tr> <tr> <td colspan="3">R7年度</td> </tr> <tr> <td>主な財源</td> <td>実施方法</td> <td>当初予算額</td> </tr> <tr> <td>一括交付金 (ソフト)</td> <td>委託</td> <td>16,469</td> </tr> </table>		予算事業名	経済金融活性化特別地区魅力向上事業		R7年度			主な財源	実施方法	当初予算額	一括交付金 (ソフト)	委託	16,469
予算事業名	経済金融活性化促進事業																												
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額																										
一括交付金 (ソフト)	委託	10,727	10,043																										
予算事業名	経済金融活性化特別地区魅力向上事業																												
R7年度																													
主な財源	実施方法	当初予算額																											
一括交付金 (ソフト)	委託	16,469																											
令和6年度活動内容				令和7年度活動計画																									
<p>特区内企業への就業を促進する各種取組と、特区内企業就業者のビジネススキルの向上に向けた集合研修を開催する。</p>				<p>見学ツアー、インターンシップのマッチング支援等、特区内企業への就業を促進する各種取組と、特区内企業就業者のスキル向上の研修を実施。</p>																									
活動指標名	①マッチングイベント開催数 (累計) ②金融関連企業等向け人材育成 支援実施数(累計)		R6年度			進捗状況	活動概要																						
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B																								
	3回	3回	3回	①3回	100.0%	順調	特区内企業への就業を促進する取組として、学生・求職者向けに企業見学ツアー、就職マッチングイベントを各3回実施し、特区内企業就業者のビジネススキルの向上に向けた取組として、集合型研修を13回実施した。																						
活動指標名	①マッチングイベント開催数 (累計)		R6年度																										
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B																								
	11回	10回	13回	②10回	100.0%																								
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果																													
<p>マッチングイベント開催数については計画値3回に対し実績は3回、金融関連企業等向け人材育成支援実施数については計画値10回に対し実績13回となっていることから順調とした。</p>																													
(2) これまでの改善案の反映状況																													
令和6年度の取組改善案				反映状況																									
<p>○SNSを使った開催告知を行うことで、学生への効果的な周知を図る。 ○大学の就職支援課等と連携し、見学ツアーやマッチングイベントの開催時期を検討する。</p>				<p>○SNSを活用した周知に取り組み、各種イベントへの参加を呼び掛けた。 ○高校生の就職活動がスタートする時期を考慮して見学ツアーを予定より前倒して実施した。</p>																									

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	北部企業は、中小企業、ベンチャー企業を主としており、人手等が不足しているため、効果的な採用手法であるインターンシップ等の受入準備が十分にできていない状況である。	⑥ 変化に対応した取組の改善	新たな取組として、インターンシップ等の受入支援に係る取組を追加する。